

コストの考え方

国産材でモノづくりを始めた平成10年ごろは、木材を出来るだけ安く仕入れて安価に作らないと売れないと考えていた。その頃つくっていたのがこんな建具です。国産材で安いから売れるだろうと思ったが、全く売れない。少したってターゲットを間違っていたと気付いた。誰に買ってもらいたいのか、そのためのコンセプトは？素材は？デザインは？機能はどうするのか考えさせられた。それによって掛けるコストも大きく違ってくる。同じ様なことで悩んでおられる工務店もあるのではないのでしょうか。安くて良質で長持ちという夢のようなものはないようで・・・



コスト優先の国産檜(節有)建具



コスト優先の国産杉(節有)建具

目に見えにくいコスト 1

安く仕入れたと思っても意外と高くついていることがあります。当社でも安く節のある木材を購入していた頃には選別や節埋めに時間、接着剤も余分に掛かりコストアップになっていました。安く安くと考えて仕入れると、手直しが増えおまけに仕上がりが悪くお客様に満足いただけません。こんなことはありませんか・・・

目に見えにくいコスト 2

現場管理コストの削減をについて考えたことはありますか？

「枠付き建具ユニット」は枠と建具を別々に作るのに比べ14日工期短縮になります。棟上後の大工工事90日の16%に当たり、監督の管理費はその分下がります。監督の経費を仮に(車両代など経費を含めて)年間**400万円**とすると**64万円**、**500万円**とすると**80万円経費減**となります。お施主さまにとって工事から次の工事まで間隔があきなんとなくだらだらとしている現場と、スピーディで正確に進んでいる現場とどちらが信頼を得られるでしょうか？工期の長いのは段取りが悪く、その分経費が余分に掛かっているのでは？と思われるのでは・・・

(資料1)
製作建具
工程13日

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
建具工事	製作										取付				
木建ガラス工事													取付		
塗装工事															工事

(資料2)
ユニット建具
工程1日

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
建具工事	取付														